

4. 近未来の膵頭十二指腸切除

1) 開腹手術の立場から

吉岡 伊作（富山大学消化器・腫瘍・総合外科）ほか

Abstract

ロボット支援手術の発展は著しく、膵頭十二指腸切除も保険収載され各施設で導入が進んでいる。しかしながら、現状ではまだ開腹による膵頭十二指腸切除を選択すべき症例も残されている。開腹膵頭十二指腸切除のメリットとして、手術時間の短縮、若手中堅外科医への教育、出血への対応、血管合併切除や conversion 手術、などが挙げられる。本稿ではこれらの点や開腹 conversion 手術の実際について述べる。

2) ロボット支援手術の立場から

仲田 興平（九州大学臨床・腫瘍外科）ほか

Abstract

ロボット支援膵頭十二指腸切除術（RPD）は、これまでの報告では開腹 PD（OPD）に比べて手術時間は延長するものの、膵癌症例を含めて術後死亡率や合併症発生率に関しては同等であるという報告が多く、近未来には RPD は OPD に変わり得る手術となり得るとも言える。一方で、経験豊富な施設からの報告がほとんどであり、実施施設はある一定の限定が必要と考える。